



# 1月 町屋幼稚園だより

令和6年1月9日  
荒川区立町屋幼稚園  
園長 高田 大

## 「親子で会話ができる絵本」

園長 高田 大

令和6年の年明けは大きな災害や事故の報道が続きました。ご関係の方が被災された方もいらっしゃるかとお察しします。心よりお見舞い申し上げます。

報道される映像には、幼児にとっては大変怖さを感じる刺激の強いものも含まれており、ながら見であっても共感疲労や心的外傷の原因となってしまう恐れもあります。子どもたちがテレビやタブレット等を利用する際には過度な視聴となったり、思わぬところでショックを受けてしまったりしないよう、ご家庭でも十分ご配慮いただければと思います。

さて、このような時こそ子どもが安心できる機会として、絵本に親しむ時間を増やしてみてもいいでしょうか。これまでも「読書のまちあらかわ」の標語を受け、本園でも読み聞かせや親子絵本貸し出しの日等を設けて読書活動の充実を図ってきているところです。

1月3日付のAERA.dotに、天皇陛下が愛子様の幼少時の子育てで選ばれた絵本についての記事がありました。記事で触れられていた選書のポイントは「親子で会話ができる絵本」だそうで、絵本リストの中には『はらぺこあおむし』のようなおなじみのものも挙げられています。

記事では「自分で文字を追う『読書』と本を読んでもらうことは、まったく別の体験」と位置付けています。実際に子どもたちは字が読めなくとも、絵本の世界に入り込んで内容を楽しんだり、自分が実際に経験した出来事や感情とつなげたりすることができています。

絵本に触れる時間は、子どもたちにとって、想像力や感性が豊かになり、言葉や文字への関心も高まるものです。そして、ご家庭での読み聞かせは、親子のコミュニケーションとしても大切な時間です。

荒川区では「家読（うちどく）」を推奨しています。本園の「絵本の部屋」もご活用いただき、お家時間の過ごし方の一つにぜひ取り入れてみてください。



### 《今月のねらい》

- 【年 中】 ○学級全体の活動に喜んで参加し、自分なりに表現することを楽しむ。  
○冬の自然に興味をもち、見たり触れたりして遊ぶ。
- 【年 長】 ○自分なりのめあてをもって、繰り返し挑戦することを楽しむ。  
○冬の自然事象に関心をもち試したり調べたりしながら遊ぶ。



## 幼稚園では『保護者向けの絵本貸し出し』も行っています。

保護者の方も、幼稚園の絵本を自由に借りることができます。ぜひご利用ください。

- ☆貸し出し時間・・・登園後、降園前
- ☆玄関からお入りください。
- ☆職員室前に、貸出用の記入ファイルがありますので、必ず記入してください。
- ☆返却時も、貸出用の記入ファイルに必ず記入をしてください。
- ☆来園の際は、職員室にお声がけください。